

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月7日

上場会社名 岩塚製菓株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2221 URL <http://www.iwatsukaseika.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎 春夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 郷 芳夫 TEL 0258-92-4111
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
27年3月期第2四半期	10,442	8.1	134	161.9	1,564	20.0	958	14.9
26年3月期第2四半期	9,659	△0.4	51	—	1,304	312.5	834	552.3

（注）包括利益 27年3月期第2四半期 △5,827百万円（－％） 26年3月期第2四半期 2,570百万円（△13.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	166.90	—
26年3月期第2四半期	145.29	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
27年3月期第2四半期	99,416	66,561	67.0	11,583.88
26年3月期	109,857	72,374	65.9	12,595.40

（参考）自己資本 27年3月期第2四半期 66,561百万円 26年3月期 72,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	21,950	4.3	530	21.0	2,560	6.5	1,560	11.4	271.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	5,995,000株	26年3月期	5,995,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	248,929株	26年3月期	248,888株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	5,746,073株	26年3月期2Q	5,746,209株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げにともなう影響は限定的で、緩やかな回復基調で推移しております。米菓業界におきましても、消費増税前後の変動も少なく、市場全体では前年同期をキープするペースで推移しております。しかし、消費者のニーズは従来からの低価格志向の一方で、高品質を求める声が高まるといった変化が表れてきております。

このような状況の下、当社は消費増税に対応した販売・商品施策を実施したことから、増税の影響をほとんど受けず、好調に推移することができました。

営業部門におきましては、国産米100%使用のこだわりと、培ってきた加工技術によるおいしさをお客様へ積極的に発信してきたことで、「10枚岩塚の黒豆せんべい」は「煎餅・あられ(かた焼) カテゴリー商品別アイテムランキング」で、「田舎のおかき(醤油・塩・ざらめ)」は「煎餅・あられ(おかき) カテゴリーブランド別販売金額」で2年連続売上No.1^{*}となりました。さらに主力商品の拡売を図ることを目的に、「世界に誇る日本のおいしさプレゼントキャンペーン」「味しらべ35周年キャンペーンどっさり缶プレゼントセール」等を実施することで、「岩塚の黒豆せんべい」「味しらべ」「田舎のおかき」等の主力商品の売上が前年同期を上回るすることができました。

開発部門におきましては、高い付加価値のある商品の開発に注力し、たっぷりの黒豆に六種類の雑穀をプラスした「岩塚の黒豆せんべい 六穀ブレンド」、素材すべてを産地にこだわり、新潟県産米100%、北海道産真昆布、瀬戸内産青のりを使用した「田舎のおかき プレミアム」を発売いたしました。

また、製造部門におきましては、為替変動にともなう原材料費、燃料費の上昇を吸収するため、部門での改善活動とともに、全社を挙げた生産性の効率向上に取り組み、コスト低減に努めてまいりました。さらに、もち米商品の仕込み設備を増強し、「田舎のおかき」の生産能力を50%拡大させるとともに、さらなる「あられ・おかき」の品揃えを拡充できる体制を整えました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、104億42百万円(前年同四半期比8.1%増)、営業利益は1億34百万円(前年同四半期比161.9%増)、経常利益は15億64百万円(前年同四半期比20.0%増)、四半期純利益は9億58百万円(前年同四半期比14.9%増)となりました。

なお、経常利益におきましては、当社が株式を保有するWant Want China Holdings Limited. からの株式配当金13億71百万円を営業外収益の受取配当金として計上しております。

^{*}インテージSRI調べ 2012年4月～2014年3月(販売金額)

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は994億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して104億41百万円の減少となりました。

流動資産は52億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億10百万円の減少となりました。これは主に、売上債権が4億33百万円減少した反面、現金及び預金が1億21百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は942億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して102億30百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価により減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は328億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億28百万円の減少となりました。

流動負債は、33億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億45百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が3億円、未払法人税等が4億33百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は295億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して39億82百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は665億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して58億12百万円の減少となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は6億51百万円（前年同四半期比48.5%増）となり、前連結会計年度末と比較して1億20百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は14億32百万円の収入（前年同四半期は13億14百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益15億53百万円を計上したこと等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は6億98百万円の支出（前年同四半期は3億49百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が5億33百万円増加したこと等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は6億14百万円の支出（前年同四半期は8億81百万円の支出）となりました。主な要因は、短期借入金の純減少額3億円及び長期借入金の返済による支出2億円を反映したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、今後の動向を予想し、通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成26年10月30日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が117,877千円減少し、利益剰余金が82,289千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	539,800	660,922
受取手形及び売掛金	3,659,131	3,225,825
有価証券	149,658	139,048
商品及び製品	150,831	114,807
仕掛品	99,014	117,524
原材料及び貯蔵品	386,865	450,591
その他	441,317	506,255
貸倒引当金	△4,322	△3,265
流動資産合計	5,422,297	5,211,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,996,775	3,918,452
その他(純額)	2,590,254	2,836,773
有形固定資産合計	6,587,030	6,755,226
無形固定資産	101,771	90,575
投資その他の資産		
投資有価証券	97,295,972	86,793,497
その他	475,852	590,861
貸倒引当金	△24,995	△25,008
投資その他の資産合計	97,746,829	87,359,349
固定資産合計	104,435,631	94,205,151
資産合計	109,857,929	99,416,862
負債の部		
流動負債		
買掛金	639,516	627,383
短期借入金	300,000	—
未払法人税等	761,496	328,407
賞与引当金	570,981	547,546
その他	1,678,997	1,801,701
流動負債合計	3,950,992	3,305,038
固定負債		
長期借入金	400,000	200,000
退職給付に係る負債	1,096,495	1,000,174
繰延税金負債	31,639,904	27,944,829
その他	395,952	405,033
固定負債合計	33,532,353	29,550,037
負債合計	37,483,345	32,855,076

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	8,543,843	9,517,284
自己株式	△457,969	△458,204
株主資本合計	11,579,873	12,553,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,874,119	54,082,634
退職給付に係る調整累計額	△79,408	△73,927
その他の包括利益累計額合計	60,794,710	54,008,706
純資産合計	72,374,583	66,561,786
負債純資産合計	109,857,929	99,416,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,659,372	10,442,450
売上原価	6,067,912	6,501,932
売上総利益	3,591,460	3,940,518
販売費及び一般管理費	3,539,952	3,805,605
営業利益	51,507	134,913
営業外収益		
受取利息	1,442	3,107
受取配当金	1,227,077	1,392,018
その他	48,231	57,259
営業外収益合計	1,276,750	1,452,385
営業外費用		
支払利息	6,214	2,773
持分法による投資損失	7,830	8,481
その他	9,817	11,308
営業外費用合計	23,862	22,562
経常利益	1,304,395	1,564,735
特別利益		
固定資産売却益	199	—
投資有価証券売却益	10,146	—
特別利益合計	10,345	—
特別損失		
固定資産除却損	1,093	10,478
投資有価証券評価損	—	394
その他	374	279
特別損失合計	1,468	11,152
税金等調整前四半期純利益	1,313,272	1,553,582
法人税、住民税及び事業税	527,697	519,268
法人税等調整額	△49,318	75,320
法人税等合計	478,378	594,589
少数株主損益調整前四半期純利益	834,893	958,993
四半期純利益	834,893	958,993

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	834,893	958,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,735,538	△6,791,485
退職給付に係る調整額	—	5,481
その他の包括利益合計	1,735,538	△6,786,003
四半期包括利益	2,570,432	△5,827,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,570,432	△5,827,009
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,313,272	1,553,582
減価償却費	399,666	374,330
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,373	△1,043
賞与引当金の増減額(△は減少)	81,646	△23,435
退職給付引当金の増減額(△は減少)	40,637	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△90,839
投資有価証券評価損益(△は益)	—	394
受取利息及び受取配当金	△1,228,519	△1,395,126
支払利息	6,214	2,773
持分法による投資損益(△は益)	7,830	8,481
売上債権の増減額(△は増加)	480,343	433,305
たな卸資産の増減額(△は増加)	56,938	△46,212
仕入債務の増減額(△は減少)	△121,030	△12,132
未収入金の増減額(△は増加)	4,211	21,167
その他	△411,090	168,157
小計	631,495	993,402
利息及び配当金の受取額	1,227,274	1,394,539
利息の支払額	△6,179	△2,763
法人税等の支払額	△538,520	△952,358
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,314,069	1,432,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600	△600
有価証券の取得による支出	△50,512	△61,831
有価証券の売却による収入	19,846	74,911
有形固定資産の取得による支出	△294,946	△533,112
有形固定資産の売却による収入	400	—
無形固定資産の取得による支出	△1,896	△1,452
投資有価証券の取得による支出	△3,305	△7,800
投資有価証券の売却による収入	31,850	—
貸付けによる支出	△50,758	△233,362
貸付金の回収による収入	—	65,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349,922	△698,248
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△600,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△200,000
配当金の支払額	△74,756	△103,326
自己株式の取得による支出	△266	△234
その他	△6,106	△10,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	△881,130	△614,049
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83,016	120,521
現金及び現金同等物の期首残高	355,476	530,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	438,493	651,321

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。